平成２８年９月６日（火）　中日新聞 尾張版

ナポレオンのモザイク壁画

学校祭向け　稲沢東高 色紙7万枚で

稲沢市の稲沢東高の全校生徒五百七十五人が協力して色紙約七万枚でナポレオンの巨大なモザイク壁画を制作し、同校正門前のフェンスに展示した。同校の体育祭（八日）と文化祭（十二、十三日）の総称「稲東祭」に向けた企画で、十三日まで飾られる。

壁画は縦五・四㍍、横五・三㍍。稲東祭のテーマ「勇猛果敢」をイメージし、フランスの画家ジャック・ルイ・ダビット（一七四八～一八二五年）が描いたアルプス山脈を越えるナポレオンの絵を表現した。実際の絵を基に、二㌢四方の八色の色紙をベニヤ板六枚のパネルに貼り付け、約二カ月かけて仕上げた。

約十年前から続いている全校企画で、実行委員長の三年竹内一裕さん（一七）は「色紙を色分けして貼り付ける作業は細かく、骨が折れたけど、完成してうれしい」。生徒会長の三年西沢翔威さん（一七）は「遠くから見ると本物のナポレオンのようで、良い作品に仕上がった」と話している。

（花井康子）

7万枚の色紙を貼り付け、モザイク壁画を作った生徒たち＝稲沢市の稲沢東高で